

## 2019-11 教育研究評議会議事概要

日時 令和2年3月18日(水) 13:30~15:20  
場所 事務局棟2階会議室  
出席者 駒田学長  
山本, 緒方, 尾西, 梅川, 伊藤(公), 大高, 富樫, 野崎, 橋本, 西村,  
鶴岡, 松田, 吉松, 吉本, 富本, 伊佐地, 安食, 樹神, 鶴原, 藤田, 片山,  
村田, 畑中, 伊藤(智), 奥村, 神原, 三宅, 綾野  
陪席者 服部監事, 山中監事

### ◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した2019-10教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

### I. 審議事項

#### 1. 令和2年度年度計画(案)について

尾西理事から、「資料：審-1, 参考資料1・2」に基づき、令和2年度年度計画(案)について、年度計画の重点事項を中心に説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後、軽微な語句の修正等については学長一任とする旨の発言があり、了承された。

#### 2. 人事労務に関する規程等の改正について

企画総務部長から、「資料：審-2」に基づき、非常勤役員手当について、勤務形態により学長が決めることができるようにすることに伴う「国立大学法人三重大学役員給与規程」の一部改正、特任教員(研究担当)について、勤務時間の下限をなくし、学生への研究指導の補助ができるようにすることに伴う「国立大学法人三重大学特任教員(研究担当)に関する規程」の一部改正、非常勤職員に休業制度を新設し、職名を整理すること等に伴う「国立大学法人三重大学非常勤職員就業規則」及び「国立大学法人三重大学非常勤職員の給与に関する規程」の一部改正並びに育児又は介護を行う職員の深夜勤務の制限及び早出遅出勤務の請求について、要件を変更することに伴う「国立大学法人三重大学職員の育児又は介護を行う職員の深夜勤務の制限に関する規程」及び「国立大学法人三重大学職員の育児又は介護を行う職員の早出遅出勤務に関する規程」の一部改正についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 3. 諸会議の規程等の一部改正について

企画総務部長から、「資料：審-3-1~3-4」に基づき、全学会議の見直しによる、外部検証委員会の廃止に伴う「三重大学における自己点検・評価に関する規程」の一部改正及び「三重大学外部検証委員会規程」の廃止並びに卒業生・修了生データベース管理運営委員会の組織構成員の変更に伴う「三重大学卒業生・修了生データベース管理運営委員会要項」の一部改正についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ◇主な意見等

○「三重大学における自己点検・評価に関する規程」第7条第2項は、外部検証委員会に直結していないのであれば、改正せずとも良いのではないか。

→法人評価及び認証評価は、別の法律上の規程に基づいて実施されているものであるもので、本規程で規定する外部検証からは、外させていただくという解釈である。

#### 4. 三重大学教職課程・学芸員養成課程委員会規程の改正について

教務課長から、「資料：審-4」に基づき、工学部の教職課程が認定されたことを受け、教職課程・学芸員養成課程委員会の組織構成員に工学研究科長を加えることに伴い、「三重大学教職課程・学芸員養成課程委員会規程」の一部改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

## 5. 新型コロナウイルスに関連した授業等の対応方針について

山本理事から、理事ミーティングの経緯も含めて、学務部長から説明がある旨の報告があった。続いて、学務部長から、「資料：審-5」に基づき、新型コロナウイルスに関連した授業等の対応方針案についての説明があり、審議の結果、現時点での前期の授業開始予定日を4月17日（金）とし、在学生の健康診断の時期については、今後検討を行うこと、また、ガイダンス及び授業の実施方法等については、山本理事を中心とした教育に関する対策会議等を設置し、至急検討を行うことで、承認された。また学務部長からは、今後学内関係者で罹患者が発生した場合等のBCPの策定にも着手したいと考える旨の説明があった。

### ◇主な意見等

- 授業開始予定日を基に、前後の行事の日程を決めていただきたい。行事の実施について判断する際には、可能であれば、富本副学長か感染症専門の教員の意見を聞いていただきたい。
- 授業開始予定日は、現状から判断したもので、今後変更の必要が生じる可能性はある。
- 工学部は学生数が多いため、全員にマスクを着用させ、距離を空けてガイダンスを行うことは、マスクの準備や会場のスペースの関係で、非現実的だと感じる。
  - 対応が難しい学部等もあるが、感染症専門の教員の意見を聞いて、出来る限りの対策を取ってもらいたい。
  - 間隔は2m空けるのが理想だが、1m間隔でも、対面でなければ少しは良い。また、出来れば、遠隔講義やWeb講義を検討願いたい。ある意味BCPを考えることにもなる。
  - 単発的な感染が発生した場合は、関連する講座やゼミの閉鎖、複数発生すれば、学部の閉鎖、クラスターの場合はキャンパスの閉鎖となる。津市の保健所や三重県とも同じ意見を共有している。キャンパス閉鎖は絶対に避けなければならない。
- 各学部等により状況が異なり、また教養教育は全学に関わるので、教育担当理事の下に、各学部等の教務委員等を構成員として、教育に関する対策会議等を置いていただきたい。各学部等のガイダンスや授業の情報を収集し、問題を洗い出し、大学としてどの様なガイドラインで行うのか、どう対応していくのかを至急検討いただくようお願いしたい。
  - クラスターが発生しないための予防方法についても、情報提供が必要になる。
  - 各学部等間で公平で統一した見解を持って検討することが必要である。
- 学生の中でも認識に差がある。懇親会や送別会は中止とする旨を改めて通知した方が良い。
- 事務ルートと教員ルートが、きちんとかみ合うようお願いしたい。
- 授業開始予定日が4月17日となることは、学生だけでなく、非常勤講師にも知らせる必要がある。本会議で承認されれば、今日明日中に公表されるのか。
  - 授業開始予定日は、本会議で承認されれば公表する。その他詳細は引き続き検討する。
- 学部等で検討する際に、Webでの授業や動画配信を選択肢として考えて良いか。回線がパンクすることはないか。
  - 今回紹介したアプリは、インターネットを利用するため、回線がパンクすることはない。コストも安価である。使用環境も使い勝手も良い。
  - 非常勤講師にも、きちんと使っていただけるようにしなくてはならない。全体の必要経費や大学からの補填等が分かれば有難い。
  - 今回紹介のあったアプリは、1アカウントあたり約2,3万円。各授業単位で1アカウント使用し、医学部の規模で50個使う予定である。
  - Web等出来るだけ安全な方法があれば、原則として、それを取り入れていただきたい。予算が無ければ、補填するので、必要なアカウント数を出してもらいたい。
- 大学については、文部科学省から指針が出ていないため、どこまで弾力的な対応が可能になるのか分からず、情報収集が必要である。Web授業についても、統一的なオンラインで行うのか、各学部等で従来のシステムがあれば、それを活用するのか、状況を確認して検討したい。検討すべき事項を整理しながら、早急に進めたい。
- ガイダンスの期間中に履修申告期間が予定されているので、検討願いたい。
- 課外活動について、学生が4月17日以降は活動可能と判断する可能性があるため、表記について検討願いたい。

6. 大学教員の懲戒処分について〔報告事項終了後、関係者のみにて審議〕

尾西理事から、令和2年2月19日（水）開催の教育研究評議会において設置された審査委員会における審査結果等について、配付資料に基づき報告され、種々意見交換の後、学長から本件に係る懲戒処分について照会があり、審査委員会における審査結果のとおりとすることが承認された。引き続き、企画総務部長から、本件に関する今後のスケジュールについて説明があった。

なお、本日の席上配付資料については、本会議終了後に回収した。

7. その他

なし

II. 役員会報告

1. 第24～27回役員会について

学長から、令和元年度第24～27回役員会について、「資料：役－1、参考資料1～4」に基づき、報告があった。

III. その他報告事項

1. 令和2年度理事・副学長・学長補佐体制について

学長から、「資料：報－1」に基づき、令和2年度理事・副学長体制についての報告があった。

◇主な意見等

OCOC+事業は令和元年度で終わるため、副学長の名称について、修正願いたい。

2. COC+に係る報告

富樫副学長から、「資料：報－2、席上配布資料」に基づき、令和元年度第9回地域創発部門会議における協議事項等についての報告があった。COC+事業が令和元年度で終わるため、来年度に向けて2つの分野を新設することとし、今後は高等教育コンソーシアムみえ教育連携部会で検討しながら進めていく旨の説明があった。また、山本理事から、COC+事業の後継事業となる「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」にエントリーを予定している旨の説明があった。

3. ボランティア活動参加届について

野崎副学長から、「資料：報－3」に基づき、学生のボランティア活動参加の手続きと情報の流れ及び修学上の配慮を含めたボランティア活動参加に伴う注意事項について、説明があった。

4. 令和3（2021）年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について

緒方理事から、「資料：報－4」に基づき、日本学術振興会が募集を行っている令和3年度（2021年度）学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦についての説明があり、適任者を推薦願う旨の依頼があった。

5. 三重大学リサーチセンターの設置及び認定期間の更新について

橋本副学長から、「資料：報－5－1～5－3」に基づき、三重大学リサーチセンターの新規設置及び認定期間の更新について、審査の結果、1件の新規設置及び3件の認定期間の更新を認めた旨の報告があった。申請は随時可能であるので、積極的にご利用いただきたい旨の依頼があった。

6. その他  
なし

◎ 退任委員等の挨拶

以 上